

令和4年度

監査報告書

定期監査
財政援助団体監査

富良野市監査委員

目 次

定期監査の結果に関する報告の提出について	1
定期監査報告	2
監査の対象	2
監査の日程及び場所	3
監査の範囲	3
監査の着眼点	3
監査の実施内容	3
監査の結果	4
意見	6
工事定期監査報告	7
学校定期監査報告	10
財政援助団体監査の結果に関する報告の提出について	13
財政援助団体（出資団体）監査報告	14
財政援助団体（公の施設の指定管理者）監査報告	20

富 監 第 4 号
令和 5 年 2 月 13 日

富良野市長	北	猛	俊	様
富良野市議会議長	黒	岩	岳	様
教育委員会教育長	近	内	栄	様
農業委員会会長	及	川	栄	様
選挙管理委員会委員長	川	崎	隆	様

富良野市監査委員	鎌	田	忠	男
富良野市監査委員	天	日	公	子

定期監査の結果に関する報告の提出について

地方自治法第 199 条第 4 項の規定に基づき、定期監査を実施したので、同条第 9 項の規定によりその結果に関する報告を次のとおり提出します。

定期監査報告

1. 監査の対象

総務部

企画振興課	企画振興係、広聴広報係、秘書係
スマートシティ戦略室	スマートシティ推進係、情報システム係
総務課	総務係、統計係、職員係

市民生活部

コミュニティ推進課	市民協働係、文化スポーツ係、総合窓口係
文化会館	

保健福祉部

保健医療課	健康推進係、医療健診係
-------	-------------

経済部

農林課	農業振興係、畜産係、耕地林務係
農業担い手育成センター	担い手育成係
農業センター	農業センター係

ぶどう果樹研究所

業務課	業務係
製造課	製造係

建設水道部

地籍調査課	地籍調査係
都市建築課	都市建築係、住宅政策係

看護専門学校

教務課	教務係
事務課	事務係

教育委員会

教育推進課	社会教育係
青少年補導センター	
こども未来課	こども未来係
山部保育所	保育係
東山保育所	保育係
あおぞら保育所	保育係
こども通園センター	こども通園係
子育て支援センター	子育て支援係

虹いろ保育所	保育係
中央公民館	中央公民館係
山部公民館	山部公民館係
生涯学習センター	生涯学習センター係
図書館	図書館係

選挙管理委員会事務局

農業委員会事務局

監査委員事務局

(31 課 37 係)

2. 監査の日程及び場所

監査の期間 令和4年11月18日～令和5年2月3日

所管部局聴取 令和5年1月27日～31日 監査委員事務室

3. 監査の範囲

令和4年4月1日から令和4年11月30日までに執行された財務及び一般行政に関する事務の執行状況

4. 監査の着眼点

富良野市監査基準に基づき、監査の対象となった事務が法令に適合し、正確で、最少の経費で最大の効果を挙げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めているかを監査した。

5. 監査の実施内容

監査の対象となる各部局に対し、下記の資料の提出を求め、この中から抽出により関係書類及び諸帳簿等进行检查し、関係職員から事務の執行状況及び内容等の説明を聴取した。なお、地方自治法第199条の2の規定に該当する事件について、天日公子監査委員を除外した。

※ 提出資料

様式1 事務分担表

様式2 歳入予算執行状況

様式3 負担金補助金交付金等支出状況調

様式4 現金取扱状況（公金の他、各種団体の現金を含む）

様式5 契約事務の状況調

様式6 建設工事施工状況調

様式7 備品台帳整理状況（備品台帳データ）

6. 監査の結果

監査結果の概要は、下記のとおりであり、おおむね適正な事務の執行がなされていると認められた。

なお、軽易な改善や検討、若しくは注意を要する事項については、監査の過程で関係部局に口頭にて改善等を指導したので、本報告では省略する。

(1) 歳入歳出予算の執行状況（一般会計）

令和4年11月末現在の執行状況は、予算現額19,535,822千円に対し収入済額は10,042,106千円、収入割合は51.4%で前年度同月比8.4ポイント増加、支出済額は8,269,071千円、執行率は42.3%で前年度同月比3.4ポイント減少している。

(2) 収入に関する事務

① 調定・収納事務

調定・収納事務については、保育所利用者負担金、学童保育センター利用料、山部診療所診療収入、公営住宅使用料、各種公共施設使用料、手数料、市有林間伐材素材売払収入等を対象に検査したところ、おおむね適正に処理されていることが認められた。

なお、申請書等の各種提出書類は、制度改正等に留意し内容確認を徹底して的確な事務処理を行うとともに、利用料等の算定基礎となる個人情報の取り扱いに留意し、今後も適正な調定事務に努められたい。

② 現金取扱事務

現金取扱事務については、現金分任出納員による施設使用料、各種手数料、山部診療所診療収入等を対象に検査したところ、適正に処理されていることが認められた。また、市発行の納付書（市税収納、税外収納）、住民票発行手数料、諸証明手数料、各種使用料、ごみ処理手数料等の総合窓口におけるスマレジによる現金の管理方法等について現地調査したところ、適正に処理されていることが認められた。

今後も現金の取り扱いについては、適正な事務処理に努められたい。

③ 滞納整理事務

滞納整理事務については、保育所利用者負担金、公営住宅使用料、学童保育センター利用料を対象に検査したところ、法令に基づき適正に処理されていることが認められた。

収入金については、未収金が生じた場合には速やかな対応に努め、滞納の新たな発生や拡大を抑制するとともに、関係部局間の連携強化と情報共有を図り、関係法令及び富良野市債権管理条例に基づく適正な滞納処分と債権管理により、引き続き公平かつ公正な収入の確保に努められたい。

(3) 支出に関する事務

① 補助金等の支出

補助金、交付金、負担金の支出については、抽出により関係書類を検査したと

ころ、おおむね適正に処理されていることが認められた。

なお、補助金等交付事務においては、条例、要綱等により目的、交付要件、手続きなどが規定されているが、補助金等の交付決定にあたっては、補助対象要件、補助金算出根拠など申請内容を的確に審査するとともに、完了届の提出など補助事業実施に必要な事務手続きの申請者への説明を徹底し、事業完了後の的確な検査を実施するなど、適正な補助金交付事務に努められたい。また、補助制度の周知にあたっては、補助対象要件等の明確化を図るなど公平な制度運用に努められたい。

② 旅費の支給事務

旅費の支給事務については、対象課を抽出し出張命令票の提出を求め検査したところ、おおむね適正に執行されていることが認められた。

なお、宿泊料など用務地により現行の支給基準との乖離が見受けられることから、航空賃や団体での出張旅費の取り扱いなどを含め、総合的な検討が望まれる。

③ 会計年度任用職員の給料・報酬等支給事務

会計年度任用職員の給料・報酬等支給事務については、対象課を抽出し出勤簿、休暇願（届）、任用通知、支出内訳書等の関係書類を検査したところ、おおむね適正に処理されていた。

なお、本年度より一部職場で出勤簿様式が変更となり記入方法に相違や記入漏れが見受けられたことから、記入方法の整理を図るとともに、会計年度任用職員への周知を徹底されたい。また、休暇願（届）の様式変更に伴い夏季休暇の取得の記載がないものが一部にあったことから、引き続き制度や事務手続き方法の周知、確認を徹底し、適正な任用事務と雇用管理に努められたい。

④ 職員手当等の支給事務

職員手当等の支給事務については、特殊勤務手当の支給に係る関係書類の提出を求め検査したところ、おおむね適正に処理されていた。

なお、特殊勤務手当実績簿の従事確認は、本人以外の管理職が行うよう留意されたい。

(4) 契約に関する事務

各種の契約事務については、抽出により関係書類の提出を求め検査したところ、おおむね適正に執行されていることが認められた。

契約事務においては、契約書の標準様式が主に使用されているが、内容によって契約約款等の見直しが必要な契約も見受けられることから、契約内容の確認、精査を図るとともに、約款や仕様書に定める通知義務等の履行確認や完了後の検収などの的確な履行管理を徹底されたい。また、契約締結決議書等の記載漏れ等も散見されたことから、適正な事務処理に努められたい。

なお、一者特命随意契約にあたっては、引き続き業者の選定根拠を明確にするるとともに、予定価格の根拠となる見積書の徴収にあたっては、業務内容と積算内訳の詳細の確認と精査を徹底されたい。

また、近年、委託業務の特殊性から公募型プロポーザルによる業者選定が増加しているが、経済的で実効性のある契約を行うため、公募上限価格の設定や公募契約手続き等の適正化に向け調査研究を行うとともに、多くの公募参加者の中から優位

な契約を行うためにも、公募参加表明期限や企画提案書の提出期限を一定程度保証することが望まれる。

(5) 財産管理に関する事務

① 物品の管理事務

物品の管理については、抽出により備品台帳と不用決定・処分、貸付関係書類の提出を求め検査したところ、おおむね適正に整理されていることが認められた。

なお、提出された備品台帳は、備品一覧表（エクセル表）により管理されていたが、備品の基準額の変更により、現行では消耗品扱いとなる物品が台帳に掲載されているケースも見受けられることから、今後の備品管理支援システムの運用に向け、備品管理要領等を作成し、適正な備品管理と台帳整備に努められたい。

② 債権（貸付金）の管理事務

債権の管理については、農業担い手支援資金貸付金、農業次世代人材投資特例資金貸付金の関係書類の提出を求め検査したところ、おおむね適正に処理されていた。

なお、償還金免除に伴う貸付金変更契約の締結が省略され、償還金の基金への積立が未実施であることから、同資金貸付事業規則に基づいた事務処理に努められたい。

(6) 団体会計に関する事務

市職員が担っている団体の経理事務について、収入支出証書、金銭出納簿、現金預金残高の照合を行ったところ、おおむね適正に処理されていることが認められた。

団体の経理事務では、収入支出証書、証拠書類等の整備に留意し、透明性を確保するとともに、速やかな出納処理に努め、公金の取扱いに準じた適正な処理を徹底されたい。

7. 意見

本市の財務事務においては、法令、財務規則等に合わせ、「財務会計の手引き」「建設事業関係事務提要」をはじめ各種要領等を定め、おおむね適正な管理、執行が行われている。しかし、細部の取扱いでは各担当部署の執行において軽微な改善を指導するケースがあり、その改善には全庁的なリスクの共有と対策が必要である。

地方自治法の改正により財務に関する事務における適正な管理、執行に向けた組織的な取り組みとして内部統制が令和2年度より制度化され、指定都市を除く市町村については努力義務とされたところである。今後、財務事務の管理及び執行のさらなる適正化を図るためには、事務要領等の一層の充実と体系的なチェック機能の整備を図るとともに、全庁的な周知や研修と運用を望むものである。

工事定期監査報告

1. 監査の対象

所管部局		監査対象工事	うち抽出工事
総務部	新庁舎開庁推進課	3件	3件
経済部	農林課	1件	1件
建設水道部	都市施設課	11件	5件
	都市建築課	25件	9件
	上下水道課	23件	7件
教育委員会教育部	教育振興課	3件	3件
計		66件	28件

(注) 監査対象工事は、歳出科目14節工事請負費に関する工事及び10節需用費の修繕料に関する工事(請負金額100万円以上)とする。

2. 監査日程及び場所

監査の期間 令和4年9月9日～12月2日
所管部局聴取・現地調査 令和4年11月17日～22日 監査委員事務室・現地

3. 監査の範囲

令和4年4月1日から令和4年9月30日までに発注した工事
(繰越明許費又は継続費により令和3年度以前に発注し本年度施工した工事を含む)

4. 監査の着眼点

富良野市監査基準に基づき、監査の対象となった工事が法令に適合し、正確で、最少の経費で最大の効果を上げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めているかを監査した。

5. 監査の実施内容

監査対象部局から「工事施行状況調」の提出を求め、進捗状況により工事を抽出し、その設計、工事管理及び工事事務が関係法令等に基づき適正に執行されているかについて関係書類を検査し、関係職員から内容等の説明を聴取するとともに、現地調査を実施した。

6. 監査の結果

監査対象となった工事66件のうち抽出工事は別表のとおり28件(抽出率42.4%)で、11件の工事については現地調査を実施し検査したところ、対象となった工事の設計、工事管理及び工事事務はおおむね適正に執行されていた。

なお、軽微な改善や検討、注意を要する事項については、口頭にて改善等を指導しており、今後も建設工事の実施にあたっては、予算措置の段階より関係部局との協議を行い、契約事務、工事設計、工事管理等、関係法令等に基づき適正な執行に努められたい。

(別 表)

抽 出 工 事

総務部新庁舎開庁推進課

(単位：千円)

No.	工 事 名	請負額	請負業者	工 期
1	富良野市新庁舎建設工事	4,526,500	大成・北弘・弘友 異業種JV	R2.10.19 ~ R4.6.20
2	富良野市新庁舎建設工事(その 4)	6,193	大成・北菱・軽米 建築JV	R4.1.28 ~ R4.5.31
3	富良野市新庁舎建設工事(その 5)	3,287	(株)北弘電社 旭 川支店	R4.8.26 ~ R4.9.30

経済部農林課

(単位：千円)

No.	工 事 名	請負額	請負業者	工 期
1	○ 水利施設整備工事(取水塔水中 ミキサ分解整備)	790	東邦電設(株) 富良野支店	R4.7.6 ~ R4.8.19

建設水道部都市施設課

(単位：千円)

No.	工 事 名	請負額	請負業者	工 期
1	○ 南3丁目2道路改良舗装工事	73,810	(株)森田工建	R4.5.20 ~ R4.10.11
2	○ 清水山線道路改良工事(第1工 区)	366,300	大北土建(株)	R4.5.11 ~ R4.12.20
3	道路舗装側溝改良工事(第2工 区)	14,355	道路工業(株)旭川營 業所	R4.9.16 ~ R4.11.30
4	公園施設長寿命化改修工事	26,290	道栄工業(株)	R4.7.29 ~ R4.10.20
5	新庁舎建設外構工事(二期工 事)	18,370	道栄工業(株)	R4.6.17 ~ R4.10.10

建設水道部都市建築課

(単位：千円)

No.	工 事 名	請負額	請負業者	工 期
1	○ 公営住宅建設工事(北麻町団地 建築主体)	130,999	(株)北菱	R4.3.18 ~ R4.12.9
2	○ 公営住宅建設工事(北麻町団地 機械設備)	25,190	(有)玉手鋼建	R4.3.18 ~ R4.12.9
3	○ 公営住宅建設工事(北麻町団地 電気設備)	15,862	(株)高崎電気	R4.3.18 ~ R4.12.9

4		公営住宅長寿命化改修工事(緑町団地屋上防水)	5,918	フクタカ工業(株)	R4.3.31 ~ R4.5.13
5	○	公営住宅長寿命化改修工事(瑞穂団地外壁等)	13,420	(株)菊田建設	R4.3.31 ~ R4.7.8
6		ぶどう果樹研究所売店冷房設備改修工事	2,233	後田設備工材(株)	R4.4.28 ~ R4.9.2
7		子育て支援センター改修工事	1,551	(株)マルササトウ建設	R4.7.29 ~ R4.9.9
8		ふれあいセンター暖房設備改修工事	3,179	(有)宮内設備工業	R4.7.29 ~ R4.10.28
9	○	公営住宅長寿命化改修工事(瑞穂団地屋根塗装)	3,300	(株)吉田塗装店	R4.8.10 ~ R4.9.22

建設水道部上下水道課

(単位：千円)

No.		工 事 名	請負額	請負業者	工 期
1	○	南3丁目2配水管移設工事	17,545	(株)ヤマサ	R4.5.20 ~ R4.10.11
2		量水器取替工事(第7工区)	4,433	(株)西塚清掃社	R4.5.20 ~ R4.8.31
3	○	弥生通配水管漏水修繕	1,573	(有)糠谷鉄工所	R4.8.16 ~ R4.9.5
4		簡易水道動力計装機器更新事業	29,700	(株)日立製作所北海道支社	R4.5.24 ~ R5.3.31
5	○	マンホールポンプ所修繕(北の峰外)	4,510	(株)テクノス北海道	R4.6.22 ~ R5.3.10
6		富良野水処理センター機械設備修繕(自動スクリーンユニット)	14,916	水ingエンジニアリング(株)	R4.4.27 ~ R5.3.10
7		山部水処理センター電気設備修繕(ポン汚泥減容設備)	3,058	(株)クリタス	R4.4.28 ~ R5.3.10

教育委員会教育部教育振興課

(単位：千円)

No.		工 事 名	請負額	請負業者	工 期
1		富良野小学校長寿命化改修工事(Ⅱ期)	94,050	(株)軽米組	R4.4.22 ~ R5.1.31
2		富良野小学校長寿命化改修工事(Ⅱ期)(機械設備)	15,400	後田設備工材(株)	R4.4.22 ~ R5.1.31
3		富良野小学校長寿命化改修工事(Ⅱ期)(電気設備)	9,295	(株)一戸電建	R4.4.22 ~ R5.1.31

(注) 請負額の単位は百円単位四捨五入にて千円単位で表示

(注) 現地調査を実施した工事は、工事名称に○印で表示

② 図書の管理

図書の管理については、各校に学校図書館司書が配置され、全校共通の図書管理システムによる台帳が整備され、良好であると認められた。

③ 理科薬品の保管・取扱状況

理科薬品の管理では、理科薬品使用記録簿が整備されていたが、一部に記載内容の不備や定期的な在庫品の確認が不十分なケースが見受けられた。

理科薬品については、本市独自の取扱規程はなく北海道教育委員会が定める「理科薬品等の取扱いに関する手引き」に準じて管理することとされているが、紛失や盗難等の事故を防ぎ、安全な理科薬品の管理に向け、記録管理の適正化と定期的な在庫確認の実施を徹底されたい。

また、管理担当者の異動もある中、適正な管理を継続的に行うためには、学校毎に異なる使用記録簿様式等を含めた理科薬品の事務取扱の統一化が望まれる。

④ 郵便切手・はがき等の取扱状況

郵便切手・はがき等受払事務については、受払簿が整備され、整理状況は良好と認められた。

なお、同額で異なる郵券種類の受払い簿への記録は区分して記載し、保有数の明確化を図るとともに、今後も購入にあたっては在庫数を勘案して使用予定数に応じた補充を行い、適切な管理に努められたい。

(2) 補助金交付金・預り金の管理状況

① 補助金交付金の管理

学校教育活動費交付金の会計事務において一部の支払いに遅延が見られたが、おおむね適正に処理されていると認められた。

今後も、交付金申請関係書類、収入支出証書及び金銭出納簿等の整備、決裁を徹底し、適正な事務処理に努められたい。

② 学校給食費の徴収管理

学校給食費の徴収は、学校長が年間諸経費の期別徴収額を保護者に通知し、納期毎に口座振替により行われ、その徴収管理は概ね適正に処理されていることが認められた。

学校給食センターからの納入通知では、各学校が管理する毎月の児童生徒等の喫食総数に基づく学校給食費納入額総額が通知されている。各学校からは、市教育委員会から直接、広域連合に納付される就学援助分を除いた額が納付されているが、納付にあたっては納付額の内訳が明確になるよう資料整理に留意されたい。

また、現金徴収した学校給食費の管理については、経理状況が明確となるよう適正に管理されたい。

③ 各種預り金の管理

修学旅行経費の徴収は、監査対象の全ての学校において、保護者から旅行者への直接払いにより行なわれ、適正に事務処理されていることが認められた。

(3) 施設の管理

施設の管理では、施設の目的外使用は無く、学校開放事業を含め適正に施設が管理されていることが認められた。

今後とも、施設管理にあたっては環境整備、美化に努め、適正な管理に努められたい。

(4) 危機管理状況

危機管理については、各校において「危機管理マニュアル」が作成され、火災や地震災害などの発生時の的確な対応や事故の予防に向け、全校児童生徒を対象に避難訓練や交通安全街頭指導・交通安全教室、ヒヤリハットマップの作成などが適宜、実施されていることが認められた。

危機管理については、リスクの未然の防止や発生時の的確で速やかな対応が重要であり、危機管理マニュアルで想定された多様なリスクに対応するため、今後も、日頃からの危機管理に対する点検・意識付けと実践的な研修・訓練等の一層の充実に努められたい。

(5) 情報管理について

各学校では、「富良野市立学校における情報セキュリティガイドライン」に基づき情報が管理され、記録媒体（USB）の校外への持ち出しは皆無であった。

各学校のネットワーク環境の整備に伴い、データ管理がクラウドによる管理に移行しており、校外へ持ち出し可能な外付け記録媒体の利用は限定的になっていることから、保有状況、使用者の明確化、紛失防止の観点からも、使用記録簿に加え管理台帳を整備するとともに、使用していない記録媒体については廃棄等整理されたい。

富 監 第 5 号
令和 5 年 2 月 13 日

富 良 野 市 長 北 猛 俊 様
富良野市議会議長 黒 岩 岳 雄 様

富良野市監査委員 鎌 田 忠 男
富良野市監査委員 天 日 公 子

財政援助団体監査の結果に関する報告の提出について

地方自治法第 199 条第 7 項の規定に基づき、財政援助団体監査を実施したので、同条第 9 項の規定によりその結果に関する報告を次のとおり提出します。

財政援助団体（出資団体）監査報告

1. 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定による財政的援助等の監査

2. 監査の対象

対象団体 株式会社 富良野振興公社
出資状況 出資金 9,800千円（1,960株 出資比率98.0%）
所管部局 総務部

3. 監査の着眼点

富良野市監査基準に基づき、監査対象団体における出資金による財政援助等に係る出納その他の事務の執行が、当該財政援助等の目的に沿って適正に行われているか監査した。

4. 監査日程及び場所

監査の期間 令和4年9月20日から令和4年12月2日まで
所管部局聴取 令和4年11月9日 監査委員事務室
団体聴取 令和4年11月9日 富良野市農村環境改善センター

5. 監査の実施内容

監査対象の財政支援団体及び所管部局から提出された資料に基づき、同団体の事業運営状況及び事業成績、財政状態、会計経理及び財産管理、関係諸帳簿等の整備状況について書面監査を行うとともに、同団体及び所管部局から内容等の聴き取りを実施した。

〔監査の範囲〕

令和2年度及び令和3年度における財政的援助に係る会計その他の事務

〔市提出資料〕

- ・出資株券及び財産台帳

〔団体提出資料〕

- ・定款、規約、就業規則、各種規程、組織図
- ・第59期定時株主総会議案（令和2年度）、第60期定時株主総会議案（令和3年度）
- ・会計事務に係る諸帳簿等（費用台帳、元帳、日計表、支出命令書、融資関係書類等）
- ・市高齢者入湯助成金、公衆浴場対策入浴助成金等関係書類

6. 監査の結果

監査の結果、当公社の経営は令和2年から続くコロナ禍による影響から厳しい財務状況にあるが、設立目的（出資目的）に基づいた事業運営が適切に実施され、対象となった会計事務は適正に執行されていると認められた。

なお、公社に係る規約や決算に係る財務諸表等における軽易な改善事項については、口頭で指導を行った。

（まとめ）

当公社は、昭和37年に第3セクターとして設立され、市内各地域の宅地造成・分譲、公共事業用地の確保等の地域開発の一躍を担ってきた。その後、観光産業の伸展に伴い、本市の基幹産業である農業と観光の振興に向け市が設置した公共施設の管理運営受託に事業主体を移し、現在は、不動産事業として本社社屋の賃貸と、公の施設の指定管理者制度による指定管理者として富良野市自然休養村管理センター（ふらのワインハウス）・富良野市農村環境改善センター（ハイランドふらの）の管理運営が行われている。

公社の経営成績では、指定管理施設の利用促進と運営経費の見直しなど積極的な経営努力により、黒字経営に転換した平成26年度以降、毎年度、売上高を伸ばし経常利益の確保が図られてきた。しかし、令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大により、観光ツアーや外食の自粛が進み、休業要請や緊急事態宣言、まん延防止等重点措置等の規制措置もあったことから、令和元年度に3億1,914万円に達した売上高が、令和2年度には1億3,193万円（前年度対比△58.7%）に減少し、令和3年度は「ふらの割」「どうみん割」等の旅行支援等もある中、1億5,628万円（同18.5%増）に留まった。

この間、公社では感染防止対策を徹底しながら一層の収益確保と経費の縮減、国や北海道、市からの経営支援金等の活用を努め、令和2年度には3,885万円の当期純損失を計上したが、令和3年度では1,661万円に損失額を縮減させている。

また、資金収支の悪化に伴い運転資金として低利で借入後3年間は無利子となる北海道による新型コロナウイルス感染症対応資金等の制度資金を活用し、令和2年度と3年度で総額8千万円の長期借入が行われていた。

一方、極めて厳しい経営状況下においても従業員の雇用を維持するとともに、利用者の利便向上に向けた施設備品等の更新、整備が継続的に実施されていた。

今後、コロナ禍による影響が引き続き懸念され、借入金の返済が必要となることから、これまで培ってきた経営ノウハウを活かし、コロナ禍後を展望した市民や観光客等のニーズに対応した施設の保全整備とサービスの向上、魅力を発信する広報活動等により利用拡大を図り、健全で安定した経営への回復を望むものである。

また、指定管理施設は、温浴など市民や観光客の健康増進と休養の場であり、周辺は散策など自然を活かした野外活動ができる環境に立地しており、本市がめざす健幸都市構想の理念のもと周辺環境も合わせた魅力ある施設づくりなど、公社の設立目的にそって、市と連携した事業の推進を期待するものである。

(資料)

出資団体の概要

1. 名称 株式会社 富良野振興公社

2. 所在地 富良野市字島ノ下

3. 設立年月日 昭和 37 年 11 月 26 日

4. 設立目的及び事業

富良野市の発展を目的とするため、次の事業を行う。

ア 公共のため必要とする不動産の取得及び売却並びにあつ旋

イ 住宅用地・工場用地等の造成及び分譲売却並びにあつ旋

ウ 富良野市から委託を受けた事業の執行

エ 地方産業開発のため富良野市から要請された事業

オ 不動産の賃貸及び商標登録マークの使用等に関する事業

カ 前各号に附帯する一切の業務

5. 資本金の額

10,000 千円 (2,000 株)

6. 株主及び所有株式数

(令和 4 年 3 月 31 日現在)

株主名	所有株式数 (株)	出資金額 (千円)	出資割合 (%)
富良野市	1,960	9,800	98.0
ふらの農業協同組合	30	150	1.5
富良野商工会議所	10	50	0.5
計	2,000	10,000	100.0

※ 定款における発行可能株式数は 3,200 株である。
令和 2 年度及び令和 3 年度の配当金はない。

7. 実施事業

(1) 不動産事業 (本社社屋賃貸)

(2) 富良野市の公の施設の指定管理業務

富良野市自然休養村管理センター (ふらのワインハウス)

富良野市農村環境改善センター (ハイランドふらの)

8. 役職員数 (令和2年10月1日現在)

取締役 9名

監査役 2名

従業員 28名 (ワインハウス11名 ハイランドふらの17名)

9. 事業実績 (経営成績)

事業区分	年度	利用者数 (社・人)	売上高 (千円)	営業利益 (千円)	当期純利益 (千円)	前年度増減 (千円)
不動産 (本部)	R1	4	9,079	35	1,227	—
	R2	4	9,079	512	△738	△1,965
	R3	4	9,079	1,257	1,344	2,082
ふらのワインハウス	R1	50,903	120,681	5,637	4,498	—
	R2	21,166	51,880	△24,381	△7,715	△12,213
	R3	21,298	59,560	△24,314	767	8,482
ハイランドふらの	R1	153,170	189,379	△388	△387	—
	R2	78,582	70,968	△45,834	△30,398	△30,011
	R3	82,172	87,639	△37,594	△18,718	11,680
合 計	R1	204,077	319,139	5,284	5,338	—
	R2	99,752	131,927	△69,703	△38,851	△44,189
	R3	103,474	156,278	△60,651	△16,607	22,244

(注) 本表は富良野振興公社の損益計算書により作成している。

なお、前年度増減欄は当期純利益の年度比較の増減である。

10. 財務状況

比較損益計算書

(単位:円)

科 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	比較増減 2年度－元年度	比較増減 3年度－2年度
経営損益の部					
売上高	319,139,056	131,926,831	156,277,580	▲ 187,212,225	24,350,749
売上原価	84,050,918	31,658,584	37,135,387	▲ 52,392,334	5,476,803
期首棚卸高	4,929,841	4,500,484	2,787,674	▲ 429,357	▲ 1,712,810
商品仕入高	83,621,561	29,945,774	38,056,716	▲ 53,675,787	8,110,942
合 計	88,551,402	34,446,258	40,844,390	▲ 54,105,144	6,398,132
期末棚卸高	4,500,484	2,787,674	3,709,003	▲ 1,712,810	921,329
売上総利益	235,088,138	100,268,247	119,142,193	▲ 134,819,891	18,873,946
業務費及び管理費	229,804,007	169,971,744	179,793,347	▲ 59,832,263	9,821,603
営業利益	5,284,131	▲ 69,703,497	▲ 60,651,154	▲ 74,987,628	9,052,343
営業外収益	4,894	32,105,616	44,046,975	32,100,722	11,941,359
受取利息	2,894	1,762	971	▲ 1,132	▲ 791
雑収入	2,000	32,103,854	44,046,004	32,101,854	11,942,150
営業外費用	3,000	3,000	3,000	0	0
支払利息	0	0	0	0	0
寄付金	3,000	3,000	3,000	0	0
経常利益	5,286,025	▲ 37,600,881	▲ 16,607,179	▲ 42,886,906	20,993,702
特別損益の部					
特別利益	1,503,942	0	200,000	▲ 1,503,942	200,000
資産売却益	1,503,942	0	0	▲ 1,503,942	0
退職戻入額	0	0	200,000	0	200,000
特別損益	16	1,250,025	200,000	1,250,009	▲ 1,050,025
資産売却損 ※	16	1,250,025	0	1,250,009	▲ 1,250,025
退職繰入額	0	0	200,000	0	200,000
税引前当期利益	6,789,951	▲ 38,850,906	▲ 16,607,179	▲ 45,640,857	22,243,727
法人税等	1,452,300	0	0	▲ 1,452,300	0
当期純利益	5,337,651	▲ 38,850,906	▲ 16,607,179	▲ 44,188,557	22,243,727

※令和元年度は資産除却損である。

比較貸借対照表

(単位:円)

科 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	比較増減 2年度－元年度	比較増減 3年度－2年度
1. 流動資産	94,027,283	101,315,575	118,487,548	7,288,292	17,171,973
(1) 現金	2,300,650	3,262,414	3,534,967	961,764	272,553
(2) 預金	81,892,223	86,235,652	98,857,552	4,343,429	12,621,900
(3) 売掛金	2,628,173	2,266,220	3,068,517	▲ 361,953	802,297
(4) 商品棚卸高	4,500,484	2,787,674	3,709,003	▲ 1,712,810	921,329
(5) 立替金	2,303,053	2,848,013	3,572,319	544,960	724,306
(6) 仮払金	402,700	510,200	620,648	107,500	110,448
(7) 未収金	0	3,405,402	5,124,542	3,405,402	1,719,140
2. 固定資産	68,393,426	63,715,057	63,034,097	▲ 4,678,369	▲ 680,960
(1) 有形固定資産	64,578,740	62,400,421	61,719,461	▲ 2,178,319	▲ 680,960
イ 土地	33,387,354	33,387,354	33,387,354	0	0
ロ 建物	92,650,867	92,650,867	92,650,867	0	0
ハ 工具器具備品	54,775,828	55,671,828	57,572,988	896,000	1,901,160
ニ 減価償却累計額	▲ 116,235,309	▲ 119,309,628	▲ 121,891,748	▲ 3,074,319	▲ 2,582,120
(2) 無形固定資産	225,966	225,966	225,966	0	0
イ 電話加入権	225,966	225,966	225,966	0	0
(3) 投資等	3,588,720	1,088,670	1,088,670	▲ 2,500,050	0
イ 出資金	3,578,050	1,078,000	1,078,000	▲ 2,500,050	0
ロ 預託金	10,670	10,670	10,670	0	0
資 産 合 計	162,420,709	165,030,632	181,521,645	2,609,923	16,491,013
3. 流動負債	27,091,627	8,552,456	21,650,648	▲ 18,539,171	13,098,192
(1) 買掛金	2,047,003	1,189,596	2,753,560	▲ 857,407	1,563,964
(2) 他事業会計	0	0	0	0	0
(3) 未払金	16,417,541	8,637,572	13,005,170	▲ 7,779,969	4,367,598
(4) 未払法人税等	1,452,300	0	0	▲ 1,452,300	0
(5) 預り金	2,623,020	2,137,492	2,474,092	▲ 485,528	336,600
(5) 仮受消費税	3,862,363	▲ 4,315,606	1,824,589	▲ 8,177,969	6,140,195
(6) 仮受入湯税	689,400	673,800	754,950	▲ 15,600	81,150
(7) 仮受金	0	229,602	838,287	229,602	608,685
4. 固定負債	5,000,000	65,000,000	85,000,000	60,000,000	20,000,000
(1) 預り保証金	5,000,000	5,000,000	5,000,000	0	0
(2) 長期借入金	0	60,000,000	80,000,000	60,000,000	20,000,000
負 債 合 計	32,091,627	73,552,456	106,650,648	41,460,829	33,098,192
5. 資本金	10,000,000	10,000,000	10,000,000	0	0
6. 利益剰余金	120,329,082	81,478,176	64,870,997	▲ 38,850,906	▲ 16,607,179
(1) 別途積立金	144,126,096	144,126,096	144,126,096	0	0
(2) 繰越利益剰余金	▲ 29,134,665	▲ 23,797,014	▲ 62,647,920	5,337,651	▲ 38,850,906
(3) 当期純利益	5,337,651	▲ 38,850,906	▲ 16,607,179	▲ 44,188,557	22,243,727
資 本 合 計	130,329,082	91,478,176	74,870,997	▲ 38,850,906	▲ 16,607,179
負 債 資 本 合 計	162,420,709	165,030,632	181,521,645	2,609,923	16,491,013

財政援助団体（公の施設の指定管理者）監査報告

1. 監査の種類

地方自治法第199条第7項の規定による財政的援助等の監査

2. 監査の対象

対象施設 ① 富良野市自然休養村管理センター（ふらのワインハウス）

② 富良野市農村環境改善センター（ハイランドふらの）

指定管理者 株式会社 富良野振興公社

所管部局 ① 経済部ぶどう果樹研究所

② 経済部農林課

③ 総務部総務課（公の施設の指定管理者制度所管）

指定管理期間等（現行協定）

対象施設	指定管理者 選定方法	指定管理期間	指定管理料	利用料金 制の適用
①富良野市自然休養村 管理センター (ふらのワインハウス)	公募	自：令和3年4月1日 至：令和8年3月31日	無	有
②富良野市農村環境改善 センター (ハイランドふらの)	公募	自：令和3年4月1日 至：令和8年3月31日	無	有

3. 監査の着眼点

富良野市監査基準に基づき、公の施設の管理を行わせている団体の指定管理業務に係る出納その他の事務の執行が当該業務の目的に沿って適正に行われているかを監査した。

4. 監査日程及び場所

監査の期間 令和4年9月20日から令和4年12月2日まで

所管部局聴取 令和4年11月8、10日 監査委員事務室

団体聴取 令和4年11月9日 富良野市農村環境改善センター

5. 監査の実施内容

監査対象の所管部局から提出された公の施設の指定管理に関する協定書及び事業報告書等の関係書類について審査し、関係職員から事務の執行状況等について聴き取りを実施した。また、監査対象団体に対しては、公の施設の管理運営業務の実施状況及び会計事務処理状況について、関係書類等の提出を受け協定書等に基づく履行状況の聴き取り審査を実施した。

〔監査の範囲〕

令和2年度実施の公の施設の管理に係る指定管理者の公募事務及び令和2年度・令和3年度における公の施設の管理運営に係る会計並びにその他の事務

6. 監査の結果

監査の結果、指定管理者制度の目的及び施設の設置目的に沿って、公の施設の指定管理に関する協定書及び指定管理仕様書に基づき、施設の維持管理及び運営が適正に処理されていると認められた。

なお、指定管理者の公募及び協定書等に定める報告事項等における軽易な改善事項については、口頭で指導を行った。

(まとめ)

富良野市自然休養村管理センター（ふらのワインハウス）及び富良野市農村環境改善センター（ハイランドふらの）は、指定管理者制度が導入された平成 18 年度以降、公募による選定で当社を指定管理者として管理運営が行われている。

両施設は令和 2 年に発生した新型コロナウイルス感染症の影響から、利用実績（延べ利用者数）が令和元年度実績と比較してふらのワインハウスで概ね 4 割、ハイランドふらので概ね 5 割まで減少し、収支決算では、営業収入の大幅な減少からワインハウスでは令和 3 年度に 77 万円の利益を計上したが令和 2 年度は 771 万円の損失、また、ハイランドふらのでは令和 2 年度 3,040 万円、3 年度 1,872 万円と多額の損失を計上した。

このため、現状、利用者数は回復基調にあるが引き続きコロナ禍の影響が懸念され、最近の物価高騰による経費の上昇からも財務状況の改善が課題となっている。

今後も指定管理者においては、引き続き利用者ニーズの把握とサービスの向上に努め、施設の一層の利用促進と経費の節減により管理運営の安定化に努められたい。

また、所管部局においては、指定管理業務に係る協定書に基づく事業報告書等の精査を図り、施設の管理運営状況の把握の徹底と適切な指導に努め、今後とも指定管理者と連携して、効率的、効果的な施設の管理運営に努められたい。

なお、現協定では、両施設とも指定管理料は無く、利用料金制による貸室等利用料及び入湯料と自主事業である食堂収入等により施設の管理運営が行われ、利用料金制では、市民の負担と福祉向上に配慮して比較的低い利用料金が設置条例で規定され、指定管理者がその額を上限に実利用料金を設定している。

今後、指定管理者制度を活かした民間ノウハウによる施設運営の改善や経費に見合った収益性の確保のためには、条例で定める上限額を一例として市民と市外利用者、利用人数による室料、利用時期による区分設定にするなど、利用者負担のあり方について検討が望まれる。

(資料1)

富良野市自然休養村管理センターの概要及び管理運営状況 (ふらのワインハウス)

(1) 施設の設置目的

農林業資源と自然環境を求めて訪れる者及び農林業にたずさわる者に対して、研修又は休養の場に供し、広く農林業に対する理解を高めるとともに、市民の福祉に寄与することを目的とする。

(2) 施設の概要

所在地 富良野市清水山 1161 番地の 160

構造 鉄筋コンクリート造 2 階建

敷地面積 7,286.5 m² (延床面積 885.61 m²)

施設内容

ワインハウス 1 階 展示直売コーナー、倉庫、水槽室、機械室、事務室、
管理人室、エレベーター等

2 階 小研修室、中研修室、従業員室、給食室兼大研修室等

屋外トイレ

屋外バーベキューハウス

緑地 0.8ha

施設開設年 昭和 54 年

(3) 施設の利用料金 (単位：円)

室名	利用料金	暖房料
研修室	2,750	冬期間 1 回につき 550 円を加算

(4) 施設の利用状況 (単位：人)

年度	延利用者数	利用内訳	
		食堂	野外バーベキューハウス
R1	50,903	50,754	149
R2	21,166	21,166	コロナ禍により休止
R3	21,298	21,298	コロナ禍により休止
増減 (R3-R2)	132	132	0

※ 研修室は食堂としての利用はあるが、貸室での利用実績はない。

(5) 施設の収支決算状況 (ふらのワインハウス)

(単位:円)

収入の部

区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	比較増減 2年度－元年度	比較増減 3年度－2年度
収入	営業収入	120,680,908	51,880,313	59,560,069	▲68,800,595	7,679,756
	営業外収入	2,061	16,666,780	25,081,757	16,664,719	8,414,977
収入合計		120,682,969	68,547,093	84,641,826	▲52,135,876	16,094,733

支出の部

区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	比較増減 2年度－元年度	比較増減 3年度－2年度	
原材料費	原材料費	41,542,968	19,293,169	23,604,171	▲22,249,799	4,311,002	
人件費	職員給与	24,649,681	26,303,350	26,720,290	1,653,669	416,940	
	職員諸手当	9,330,894	3,411,087	3,363,817	▲5,919,807	▲47,270	
	契約職員	4,537,519	5,622,381	6,313,837	1,084,862	691,456	
	契約職員手当	242,244	240,024	240,024	▲2,220	0	
	労務費	3,254,921	197,684	192,939	▲3,057,237	▲4,745	
	法定福利費	5,638,813	5,739,071	5,899,702	100,258	160,631	
	退職給付費	0	0	181,000	0	181,000	
管理・ 業務費	光熱水費	5,336,372	4,154,224	5,150,954	▲1,182,148	996,730	
	消耗備品費	2,754,020	1,264,304	1,687,251	▲1,489,716	422,947	
	衛生費	643,972	247,299	171,858	▲396,673	▲75,441	
	宣伝広告費	454,657	222,047	284,548	▲232,610	62,501	
	使用料	96,038	102,000	96,000	5,962	▲6,000	
	車両費	529,106	405,926	479,490	▲123,180	73,564	
	修繕費	1,917,500	231,200	354,000	▲1,686,300	122,800	
	借上料	1,122,215	744,970	697,560	▲377,245	▲47,410	
	手数料	2,807,783	872,299	999,434	▲1,935,484	127,135	
	保険料	236,690	197,680	222,800	▲39,010	25,120	
	委託料	3,635,141	3,088,719	3,183,845	▲546,422	95,126	
	厚生費	2,425,264	1,720,209	2,048,869	▲705,055	328,660	
	旅費	5,093	13,000	15,910	7,907	2,910	
	研修費	0	0	0	0	0	
	事務消耗品費	453,216	129,440	166,617	▲323,776	37,177	
	通信運搬費	596,784	422,891	590,100	▲173,893	167,209	
	交際費	0	0	0	0	0	
	負担金	31,000	67,000	72,773	36,000	5,773	
	租税公課	290,473	263,849	120,058	▲26,624	▲143,791	
	雑支出	174,974	149,638	185,181	▲25,336	35,543	
	減価償却費	2,336,885	1,158,184	831,389	▲1,178,701	▲326,795	
		小計	115,044,223	76,261,645	83,874,417	▲38,782,578	7,612,772
		法人税等	1,140,961	0	0	▲1,140,961	0
	支出合計	116,185,184	76,261,645	83,874,417	▲39,923,539	7,612,772	

収	支	4,497,785	▲7,714,552	767,409	▲12,212,337	8,481,961
---	---	-----------	------------	---------	-------------	-----------

(注) 本表は富良野振興公社の決算報告書をもとに作成している。

(資料2)

富良野市農村環境改善センターの概要及び管理運営状況 (ハイランドふらの)

(1) 施設の設置目的

農業経営の改善、地域農業者の生活向上と併せて、市民の福祉と健康増進を図ることを目的とする。

(2) 施設の概要

所在地	富良野市字島の下		
構造	鉄筋コンクリート造2階建		
敷地面積	8,456.06 m ² (延床面積3,083.995 m ²)		
施設内容			
研修棟	地上1階	浴室(大浴場A・B、リハビリ用浴室、露天風呂等)	
	地下1階	機械室(機械設備、電気設備)	
センター棟	地上1・2階	ホール3箇所、管理事務所、管理人室、相談室、和室 研修室、便所、エレベーター、談話集会室、視聴覚研 修室、調理実習室、倉庫	
宿泊棟	地上1・2階	客室26室、リンネ室、便所、配膳室、食堂、作業室、 休憩室	
付属施設		バーベキューハウス2棟、倉庫	
施設開設年	昭和61年		

(3) 施設の利用料金

① センター貸室等

(単位：円)

区分		利用料金	暖房料	摘要
入湯料	大人(高校生以上)	600	—	入湯税を含む
	中人(中学生)	411		
	小人(小学生)	261		
利用料 (1時間)	多目的ホール	1,100	冬期間 利用料の3割に 相当する額	団体の会議室 等の利用料
	和室研修室	550		
	視聴覚研修室	550		

② 付属宿泊施設

(単位：円)

利用区分 室名	宿泊の場合 (15時～翌日10時)		日帰りの場合		摘要
	貸室料 (1室)	暖房料 (1人)	貸室料 (1時間)	暖房料 (1室)	
洋室A	12,100	330			定員2 室数2
洋室B	9,900	330			定員2 室数7
洋室C	13,200	330			定員3 室数5
洋室D	15,400	330			定員4 室数6
和室	15,400	330	275	110	定員4 室数6
大広間			550	220	室数1

(4) 施設の利用状況

(単位：人)

年度	延利用者数	利用内訳			
		食事	宿泊	貸室	入浴
R1	153,170	43,420	11,590	310	97,850
R2	78,582	13,504	3,499	133	61,446
R3	82,172	12,964	5,802	564	62,842
増減 (R3-R2)	3,590	▲540	2,303	431	1,396

(5) 施設の収支決算状況 (ハイランドふらの)

(単位:円)

収入の部

区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	比較増減 2年度－元年度	比較増減 3年度－2年度
営業収入	食堂売上高	82,105,865	23,031,689	31,175,837	▲59,074,176	8,144,148
	野外売上高	5,489,042	488,299	0	▲5,000,743	▲488,299
	売店売上高	9,802,201	5,149,094	4,274,034	▲4,653,107	▲875,060
	宿泊売上高	45,320,697	14,563,961	23,986,126	▲30,756,736	9,422,165
	入湯料	34,679,639	23,400,898	23,042,011	▲11,278,741	▲358,887
	雑収入	11,981,794	4,333,667	5,160,593	▲7,648,127	826,926
営業外収入	雑収入	0	15,436,160	18,875,887	15,436,160	3,439,727
収入合計		189,379,238	86,403,768	106,514,488	▲102,975,470	20,110,720

支出の部

区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	比較増減 2年度－元年度	比較増減 3年度－2年度
人件費	職員俸給	12,606,400	18,483,500	20,216,200	5,877,100	1,732,700
	職員諸手当	3,956,485	4,294,339	2,998,381	337,854	▲1,295,958
	臨時職員	29,807,700	21,141,300	17,392,000	▲8,666,400	▲3,749,300
	臨時職員諸手当	4,634,028	927,279	818,184	▲3,706,749	▲109,095
	労務費	2,209,234	505,272	805,142	▲1,703,962	299,870
	法定福利費	8,965,881	7,580,672	6,932,752	▲1,385,209	▲647,920
	退職給付費	284,200	0	590,670	▲284,200	590,670
管理・ 業務費	光熱水費	18,615,159	14,564,689	16,026,346	▲4,050,470	1,461,657
	消耗備品費	7,930,715	2,096,441	5,654,397	▲5,834,274	3,557,956
	衛生費	5,461,280	2,257,877	3,077,338	▲3,203,403	819,461
	宣伝広告費	1,211,231	668,909	779,064	▲542,322	110,155
	使用料	709,037	658,129	581,317	▲50,908	▲76,812
	車両費	904,296	324,749	405,348	▲579,547	80,599
	修繕費	4,174,773	660,693	488,890	▲3,514,080	▲171,803
	借上料	2,497,556	2,994,920	3,129,970	497,364	135,050
	手数料	10,545,704	4,027,893	6,130,883	▲6,517,811	2,102,990
	保険料	428,052	355,910	328,290	▲72,142	▲27,620
	委託料	23,736,716	18,817,047	21,405,788	▲4,919,669	2,588,741
	厚生費	1,976,216	1,267,152	1,305,337	▲709,064	38,185
	旅費	50,917	0	0	▲50,917	0
	研修費	0	3,638	5,392	3,638	1,754
	事務消耗品費	48,320	50,871	65,568	2,551	14,697
	通信運搬費	420,219	376,066	409,743	▲44,153	33,677
	会議費	2,728	0	0	▲2,728	0
	交際費	25,980	0	0	▲25,980	0
	負担金	148,590	159,780	181,000	11,190	21,220
	租税公課	224,468	91,254	71,923	▲133,214	▲19,331
	雑支出	397,637	288,560	45,458	▲109,077	▲243,102
	販売促進費	3,130,224	1,207,103	1,336,531	▲1,923,121	129,428
	減価償却費	2,155,145	632,472	519,443	▲1,522,673	▲113,029
小計	147,258,891	104,436,515	111,701,355	▲42,822,376	7,264,840	
売上原価	42,507,950	12,365,415	13,531,216	▲30,142,535	1,165,801	
法人税等	0	0	0	0	0	
特別損失	▲145	0	0	145	0	
支出合計		189,766,696	116,801,930	125,232,571	▲72,964,766	8,430,641
収	支	▲387,458	▲30,398,162	▲18,718,083	▲30,010,704	11,680,079

(注) 本表は富良野振興公社の決算報告書をもとに作成している。